

万博参加国ヒアリング調査

調 査 結 果

## 万博参加国ヒアリングにおける主要意見

### 【万博参加国ヒアリングの概要】

ヒアリング概要	万博公式参加国 15 ヶ国の政府幹部を対象として、海外から見た日本（中部地方）の印象、日本の役割等について、聞き取りを行った。
ヒアリング時期	7月中旬～8月初頭

### 【ヒアリング実施日程】

月 日	国 名	ヒアリング先
7月20日（水）	ロシア連邦	グーシン・ヴラジーミル氏（副館長）
7月21日（木）	アメリカ合衆国	ダグラス M. ウェスト氏（政府代表代理 民間セクター）
7月24日（日）	メキシコ合衆国	マルセロ・バルガス氏（儀典担当大使）
7月27日（水）	オーストラリア	ポール モロイ氏（政府代表代理）
7月29日（金）	インド	N. K. セーガル氏（インド館館長）
7月29日（金）	韓国	パク ウンウ氏（朴 殷雨）（韓国館館長 / 政府副代表）
8月 1日（月）	ニュージーランド	フィリップ・ギブソン氏（政府代表） マイク・パティソン氏（館長）
8月 1日（月）	フィリピン	アラオディ C. ソラノ氏（館長）
8月 1日（月）	ブルネイ王国	ラティフ・アスパル氏（館長）
8月 3日（水）	シンガポール	チャンドリカ・シャンティラル氏（館長 / 政府代表代理）
8月 3日（水）	フランス	エリック・ベローヴル氏（副館長）
8月 4日（木）	イタリア	サルバトーレ・ダミアニ氏（館長）
8月 4日（木）	インドネシア	サルトノ氏（館長）
8月 4日（木）	マレーシア	サラフディン・アリフィン氏（館長）
8月 5日（金）	カナダ	ノーマン・モイヤー氏（政府代表）

## 【ヒアリングでの主な意見】

### 1. 日本の印象

#### 安全・安心

- ・ 自然災害は予想することができない。災害に対して安全かどうかということよりも、防災対策が整っているかどうかの方が重要である。(フィリピン)
- ・ スマトラ沖地震による津波は、インドネシアでは予測しておらず、国レベルでの対策が準備されていなかった。一方、日本では防災対策が整っており、人々も災害に対する心の準備ができています。(インドネシア)
- ・ 災害後の復旧という点では、ロシアより日本の方がきめ細やかな対応ができ、迅速に立ち直ることができるのではないか。(ロシア)

#### 自然環境

- ・ 一般的な状況として、日本はアメリカに比べて環境に対する意識が高い。(アメリカ)
- ・ 日本では自然が大切にされている場所と、まったく無視されている場所の両方が混在している。例えば、ある観光スポットは美しいのに、その駐車場のゴミ箱の周りにごみが散乱していた。(カナダ)
- ・ 海辺や川辺はコンクリートで固められ、テトラポットにはゴミが散乱しており、非常に醜い。(カナダ)
- ・ 日本は歴史的な建造物の保存に力を注ぐ等、自国の文化を非常に大切にしている。ただ、残念なことは日本人ひとりひとりが自国の歴史文化をよく知らないことがある。(ロシア)

#### 国際競争力

- ・ 日本では労働コストが非常に高く、投資環境としては必ずしも魅力があるとはいえない。(ロシア)
- ・ あらゆるコストが非常に高い。(ニュージーランド)
- ・ 役所的な手続きが多く、非常に煩雑である。EXPOの口座一つ開くにしても、大変難しかった。全ての面において、そういう風潮がある。(ニュージーランド)
- ・ 関東・関西に比べて中部は閉鎖的。外国人と接する機会が少ないためではないか。(韓国)
- ・ 中部は内部でのビジネス関係が強く、外国人が入りにくい。豪州政府オフィスは現在、日本で22あるが、オフィスを探すのが最も難しかったのは名古屋だった。(オーストリア)
- ・ 諸外国から名古屋をはじめとする中部地域への投資を促進したいと考えるなら、当地の国際化をさらに押し進める必要がある。(メキシコ)
- ・ 日本には強みと弱みがある。強みのひとつは技術である。日本の技術に投資し、技術提携を推進していくのは有益だ。しかし、物価の高さという弱みもある。これが投資を難しくしている。(カナダ)
- ・ 海外から投資を呼び込むには、知識集約型の産業と労働者を育て、これをグローバルに展開していく必要がある。(アメリカ)

#### 交流

- ・ 中部地方には興味深いスポットが多々あり(中山道、犬山、岐阜、関ヶ原など)おもしろいが、多くの人々は中部の観光地を知らない。もっとPRをした方がよい。(オーストリア)
- ・ 観光面を世界に伝えていないという問題がある。日本への旅行は外国人旅行者にとって費用がかかるというイメージがあるが、実際は、ドイツやイギリスへ行くのと変わらない。すば

らしい国をもっとプロモートしていくべきだと思う。(ニュージーランド)

- ・問題は交通である。交通標識やロードマップの表記が不十分であり、日本ではアメリカ人は怖くて運転ができない。日本の道路交通は今以上にユーザーフレンドリーになる必要がある。(アメリカ)
- ・日本のホテルの宿泊費はイタリアよりも高くない。本当の日本の物価水準を理解させるべきだ。誰かがオーガナイザーになって、プロモーションをすべき。(イタリア)
- ・中部の課題は、移動手段が高く、交通機関が使いにくいこと。1日券などもない。(フィリピン)
- ・日本の観光地といえば京都・大阪・東京だが、中部も名古屋だけでなく、静岡などまで含めて広い目で見ると魅力がある。(韓国)
- ・中山道 - 妻籠 - 馬籠 - 奈良宿などの歴史・文化的なルートを用いて、外国人向けのハイキング・ウォーキングツアーをプロモートするとよい。(オーストリア)
- ・テニスやゴルフの世界的なスポーツイベントを誘致して、知名度を高めていくなどの取り組みをしてみるのも面白いのではないかと。(メキシコ)

## 2. 期待される日本の役割

- ・日本は戦後世界でも最も技術が発展した国の一つ。今後も環境問題などグローバル問題の解決に果たすべき役割は大きいのではないかと。(ロシア)
- ・日本は外国に対し、経済面だけではなく、政治的な面や安全面においてもっとアピールをし、主張していくべき。(ニュージーランド)
- ・自然災害に苦しむ国々と災害対策システムを共有すべきである。例えば、農業のための土の再生システムなど。(フィリピン)

## 3. 中部地方の印象

### 中部地方の交通機関について

- ・電車は快適であるが、案内表示やアナウンスはもっとあった方がよい。例えば、地下鉄で通勤する時、4か国語でのアナウンスは終点の藤が丘駅にしかない。(マレーシア)
- ・日本の交通機関は信頼でき、使い易く、効率的であると感じた。地図があれば、行きたい場所がすぐ分かる。しかし、日本の地下鉄などの駅にはエレベーターが不足していると思う。高齢者などは駅を出るのに長距離を歩かねばならず、苦勞していると思う。(シンガポール)
- ・日本の交通機関は世界的にみても、非常にハイコストである。(オーストラリア)

### 中部地方の街について

- ・名古屋市内には魅力的なスポットがあるのに、それぞれがバラバラで離れているのが現状。観光ルートが必要である。例えば、名古屋駅 ノリタケの森 名古屋城 堀川沿い 栄 はどうだろうか。堀川の川べりに歩道をつければ、観光ルートで素晴らしいポイントができる。(カナダ)
- ・名古屋は住みやすいと思うが、名古屋での生活は、家族向けであり、シングル向けではないと思う。それは、レジャーの場所が少ないということと、バーやディスコなど、夜楽しめる場所も少ないというのが主な理由。全体的にエンターテイメントが少ない。(フランス)

### 宿泊施設や公共サービス(英語標識・案内等)について

- ・ 交通機関等の案内表示は全く足りていないと思う。観光客の必要とする英語情報が不足している。(ブルネイ王国)
- ・ 宿泊施設の不足が一番大きな問題。万博開催にあわせて新たなホテルを建設していない。(韓国)

#### セントレアについて

- ・ 旅客、交通、運送どの部門についても素晴らしい。今後にも期待できる。(アメリカ)
- ・ 地元客が多く、常に食事するところが20~30分待ちで、外国人が利用しづらい。(韓国)
- ・ 関西空港が高すぎるのに比べて、中部は大変よい。セントレアは日本の中心にあるという地理的条件も含め、非常によい。(オーストラリア)

#### その他のご意見

- ・ 観光誘致には毎年続けて広告やPRをすべき。「VISIT JAPAN」では不十分。観光手法をもっと開発しなければならない。オーガナイザーがしっかり動くべきだ。(カナダ)
- ・ 中部地方には、犬山(明治村)、鳥羽、高山、松本など魅力的な街がある。PR・プロモーションすべきだ。(カナダ)
- ・ 東京の方が優れている点は、外国人が多く、より多くの方が英語を話せるところである。また、外国人向けの観光情報も、東京の方が豊富である。(インド)
- ・ ツアーに関する情報が少ない。トヨタの半日ツアーや京都・奈良、温泉地までのツアーなどがあるとよい。(インド)
- ・ 中部においては、「名古屋」よりも「トヨタ」の方が世界的知名度がある。名古屋市を中心とした中部地域を世界に売り込もうとするのであれば、世界に対する情報発信を強めていかねばならない。(メキシコ)